

令和3年第4回士別市議会定例会会議録（第1号）

令和3年11月30日（火曜日）

午前10時00分開会

午前10時45分散会

本日の会議事件

開会宣告

会議録署名議員の指名

諸般の報告

日程第 1 会期の決定について

日程第 2 行政報告について

日程第 3 議案第 114号 士別市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

日程第 4 議案第 115号 士別市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について

日程第 5 議案第 116号 令和3年度士別市一般会計補正予算（第9号）

議案第 117号 令和3年度士別市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第 118号 令和3年度士別市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

議案第 119号 令和3年度士別市水道事業会計補正予算（第2号）

議案第 120号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算（第3号）

日程第 6 諮問第 3号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第 7 認定第 1号 令和2年度士別市一般会計歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 2号 令和2年度士別市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定
について(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 3号 令和2年度士別市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定に
ついて(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 4号 令和2年度士別市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定につ
いて(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 5号 令和2年度士別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定に
ついて(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 6号 令和2年度士別市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
について(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 7号 令和2年度士別市水道事業会計決算認定について
(予算決算常任委員長結果報告)

認定第 8号 令和2年度士別市病院事業会計決算認定について
(予算決算常任委員長結果報告)

日程第 8 意見書案第12号 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書について
散会宣告

出席議員（17名）

副議長	1番	井上久嗣君	2番	中山義隆君
	3番	苔口千笑君	4番	真保誠君
	5番	奥山かおり君	6番	西川剛君
	7番	十河剛志君	8番	佐藤正君
	9番	谷守君	10番	村上緑一君
	11番	丹正臣君	12番	国忠崇史君
	13番	喜多武彦君	14番	大西陽君
	15番	谷口隆徳君	16番	山居忠彰君
議長	17番	遠山昭二君		

出席説明員

市長	渡辺英次君	副市長	法邑和浩君
総務部長	中舘佳嗣君	市民自治部長	藪中晃宏君
健康福祉部長	田中寿幸君	経済部長	鴻野弘志君
都市整備課長	佐々木誠君		

教育委員会 教育長	中峰寿彰君	教育委員会 学校教育課長	須藤友章君
--------------	-------	-----------------	-------

病院事業者 副管理者	三好信之君	経営管理部長	東川晃宏君
---------------	-------	--------	-------

農業委員会 会長	保科隆志君	農業委員会 農事務局長	林秀忠君
-------------	-------	----------------	------

監査委員	浅利知充君	監査委員 事務局員長	岡崎忠幸君
------	-------	---------------	-------

事務局出席者

議 会 事 務 局 長
議 会 事 務 局 査
議 会 事 務 課 主 査

穴 田 義 文 君
中 井 聖 子 君

議 会 事 務 局 長
議 会 事 務 課 主 査
議 会 事 務 局 主 査
議 会 事 務 課 主 査

岡 崎 浩 章 君
駒 井 靖 亮 君

(午前10時00分開会)

○議長(遠山昭二君) 令和3年第4回定例会が招集されましたところ、本日の出席議員は全員であります。

ただいまから開会いたします。

直ちに会議を開きます。

○議長(遠山昭二君) 本定例会の会議録署名議員には、5番 奥山かおり議員、6番 西川 剛議員、7番 十河剛志議員を指名いたします。

○議長(遠山昭二君) ここで事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(穴田義文君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については、配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第114号 士別市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

議案第115号 士別市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について

議案第116号 令和3年度士別市一般会計補正予算(第9号)

議案第117号 令和3年度士別市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

議案第118号 令和3年度士別市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

議案第119号 令和3年度士別市水道事業会計補正予算(第2号)

議案第120号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算(第3号)

諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について

2. 議会運営委員会から送付された議案は次のとおりである。

意見書案第12号 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書について

3. 常任委員会から送付された審査経過及び結果の報告は次のとおりである。

認定第1号 令和2年度士別市一般会計歳入歳出決算認定について

認定第2号 令和2年度士別市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第3号 令和2年度士別市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定第4号 令和2年度士別市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第5号 令和2年度士別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第6号 令和2年度士別市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第7号 令和2年度士別市水道事業会計決算認定について

認定第 8 号 令和 2 年度士別市病院事業会計決算認定について

4. 監査委員から送付された報告は次のとおりである。

例月現金出納検査の結果に関する報告 8月、9月分

5. 議長会の関係については次のとおりである。

(1) 第 23 回国と地方の協議の場等に関する特別委員会

イ. 開催日 令和 3 年 11 月 26 日

ロ. 開催地 東京都

ハ. 出席者 遠山議長

ニ. 会議概要 国と地方の協議の場等の動向等について外 2 案件を協議した後に、令和 4 年度地方財政の課題についての講演を聞き終了した。

6. 本会議に出席する者は次のとおりである。

市長	渡辺英次	副市長	法邑和浩
総務部長	中舘佳嗣	市民自治部長	藪中晃宏
健康福祉部長	田中寿幸	経済部長	鴻野弘志
建設水道部長	千葉靖紀	市民自治部 朝日支所長	佐藤義弘
企画課長	大橋雅民	総務課長 (併)選挙管理 委員会事務局長	半澤浩章
財政課長	丸徹也	自治環境課長 兼バイオマス資 源堆肥化施設長	青木伸裕
市民課長	佐藤祐希	税務課長	水留啓諭
環境センター 所長	今井博明	朝日支所 地域住民課長 (併)地域教育 課長	庄司伸一
朝日支所 経済建設課長	岡田詔彦	上士別出張所長 兼上士別構造 改善センター 所長	吉川千緒
多寄出張所長 兼多寄研修 センター所長 兼多寄構造改善 センター所長	阿部也寸志	温根別出張所長 兼温根別生活 改善センター 所長 兼温根別 多目的研修集 会施設所長	四ツ辻秀和
福祉課長	川原広幸	こども・子育て 応援課長	瀧上聡典
保育推進課長	東川由美	介護保険課長	青木秀敏

ア長社長 ケ福祉長 括健康所 包進保一 域進保一 地推兼 兼セ兼セ	増田晶彦	いきいき健康館 センター	島田英貴
農業振興課長	藤田昌也	畜産林務課長	徳竹貴之
商工労働 観光課長	阿部淳	国営農地再編 推進課長	喜多伸光
都市整備課長	佐々木誠	都市整備課監 都土木管	村田雄大
都市整備課 都建築管理監	峯垣智剛	都市整備課監 都下水道管	山下正明
都市マネジメント 都課長	土田実	施設維持 センター所長	輿水賢治
会計管理局長	坂本洋紅	商工労働観光課 副長	佐藤政臣
教育委員会 教育会長	中峰寿彰	教育委員会 生涯学習部	三上正洋
教育委員会 教学校教育課 会長	須藤友章	教育委員会 教東事	河口光輝
教育委員会 教学校給食 センター所長	古川優	教育委員会 社会教育課	武山鉄也
教育委員会 教中央公民館 兼センター館長	千葉真奈美	教育委員会 図書館情報 兼生涯学習 センター所長	岡田英俊
教育委員会 教博物館 兼公会堂展 館長	大留義幸	教育委員会 スホの里 推進課 兼総合体育館 兼スポーツ 館長	坂本英樹
教育委員会 教学校教育課 兼中央公民館 兼センター副 会長	友田正樹	教育委員会 社会教育課 兼図書館 兼生涯学習 センター副 会長	佐藤和佳子
教育委員会 教合宿の里 兼スホの里 兼推進課 兼総合体育館 兼スポーツ 館副長	上川学	教育委員会 地域教育課	黒沼淳一
病院事務 副管理 市立病院長 兼立務課長 兼医事課長 兼農業委員 会職務代理者	三好信之 池田亨 上野浩二	市立病院 経営管理部 院長 農業委員 会会長 農業委員 会局長	東川晃宏 保科隆志 林秀忠

監査委員 浅利知充 監査委員 岡崎忠幸
事務局 局長

7. 本会議の事務に従事する者は次のとおりである。

議会事務局長 穴田義文 議会事務局 岡崎浩章
総務課 局長
議会事務局 中井聖子 議会事務局 駒井靖亮
総務課 主任主事

以上報告する

令和3年11月30日

士別市議会議長 遠山昭二

○議長（遠山昭二君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定についてを議題に供します。

お諮りいたします。本定例会の会期は本日から12月17日までの18日間と決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から12月17日までの18日間と決定いたしました。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第2、行政報告についてを議題に供します。

行政報告を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） 令和3年第4回士別市議会定例会に当たり、諸般の行政報告をいたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症についてです。

今月1日から、感染者数の減少を踏まえ、飲食店の人数制限やカラオケ利用の自粛、イベントの人数上限など、ほぼ全ての制限が解除となりました。

これまで、数多くの自粛要請に御協力いただいた皆様に感謝を申し上げますとともに、今後、国の制度なども積極的に活用しつつ、コロナ禍で落ち込んだ市内経済活動の立て直しに努めてまいります。

ワクチン接種の進捗については、11月14日時点において対象者の約88%に当たるおよそ1万4,800人が2回の接種を終えており、予約状況につきましても年内の予約枠が埋まったことから、現在は来年1月及び2月の予約枠で対応しています。

また、追加接種への対応については、市外に勤務する一部の医療従事者が、早ければ12月からワクチン接種が開始されることを受け、今月22日から接種券の送付を開始したところです。

市内における追加接種については、1月下旬からの実施を予定していることから、今後2回目接種から8か月を経過する方に対し順次接種券を発送するとともに、市立病院をはじめ市内の開業医等と連携しつつ、体制を整えてまいります。

国の地方創生臨時交付金を活用した本市の対策としては、ポストコロナイベント事業において、昨年に引き続き中止となった産業フェアの代替事業として、コロナに負けない元気な士別！地産地消カタログ販売を実施しました。

市内15事業者の協力の下、38の商品をカタログに掲載し、購入者数92人、販売数344個、売上額約60万円の実績となったところです。

また、購入いただいた方の中から抽選で20人に士別の特産品セットが送られたところであり、今後においても、ラブ士別バイ士別運動を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症対策第9弾による経営持続化応援金事業については、10月18日から事業を開始し、11月26日現在47件の申請を受け、25件の交付を決定したところです。

これから本格的な冬のシーズンを迎えるに当たり、暖房を使用し窓を閉めての活動が増えることによる感染リスクの高まりが予想されることから、引き続き感染防止対策の徹底に努めてまいります。

次に、農作物の状況についてです。

本年は雪解けが早く、農作業もおおむね順調に進みましたが、7月以降は記録的な高温・少雨が続いた状況となりました。主な農作物の状況は、水稻については天候に恵まれたことで登熟が順調に推移し、不稔粒も少なく、上川管内の作況指数は108の良、予想収量は10アール当たり621キログラムの豊作が見込まれます。

一方、豆類やバレイショ等の畑作物を中心に生育の停滞が確認され、JA北ひびきが実施した農業者への聞き取り調査においても、農作物全般にわたり、平年と比べて収穫量の低下が心配されるところです。

また、てん菜については今年度平均糖度14.8%、10アール当たり収量4.8トンが見込まれ、過去10年の平均糖度16.3%、収量5.3トンを下回ることが予想されます。日本甜菜製糖株式会社士別製糖所による本年の製糖操業は、10月8日に始まり来年1月中旬までと伺っています。

今後は収穫された農作物の品質保持などに万全を期すとともに、収穫量が減となった農業者の経営対策や営農活動が円滑に行えるよう対応に当たってまいります。

次に、友好都市みよし市との交流についてです。

昨年で友好都市提携20年を迎えたみよし市との交流については、新型コロナウイルス感染症が発生以来、人が行き来する交流は行われていない状況です。

去る11月3日に、みよし市市制施行10周年の記念式典が、参加者を制限した中で開催され、本市からお祝いのメッセージなどをお贈りしたところです。

また、11月17日には、みよし市を訪問し、今期で勇退される小野田市長と懇談させていただき、長年にわたり市政発展と友好都市の交流発展に御尽力いただいた御労苦を労い、感謝の意を表し、新型コロナが落ち着いた際の交流再開を確認してきたところです。

次に、誘致企業との連携についてです。

去る10月3日に、トヨタ自動車株式会社士別試験場を会場として、羊のまち健康ウォーキン

グを2年ぶりに開催いたしました。

当日は、寒空の中ではありませんでしたが、90人の参加者は日頃立ち入れない壮大な試験場の中を歩き、心地よい汗を流しました。

10月22日には、本市とトヨタ自動車株式会社土別試験場との包括連携協定を締結しました。この協定は、安全安心な地域づくりなど10項目について、これまでと同様に互いに連携、協力して取り組むことを目的にしています。引き続き、トヨタ自動車にお力添えをいただきながら、地域発展のために連携した取組を進めます。

また、他の誘致企業とも冬季の試験や操業が円滑に行われるよう、連携を密にしていまいます。

次に、関係省庁はじめ誘致企業、関係団体に対する要望についてです。

去る11月18日に、北海道市長会の政策懇談会に参加し、地域の懸案事項や地方財政の充実強化など、新年度予算の確保に向けた要望を自由民主党北海道選出国會議員に行うとともに、今津旭川市長、加藤名寄市長らと国土交通省や農林水産省に対し、地域課題の要望を行ってまいりました。

また、日甜をはじめ、同友会グループ、トヨタ、ダイハツ等を訪問し、役員などの方々に対して施設充実やこれから始まる冬季試験の拡充を中心に、地域振興への支援協力をお願いしてきたところであります。

さらには、教育長とともに日本陸連、JOCなどに出向き、御挨拶を兼ねてイベントの継続と合宿への要請を行ってまいりましたが、今後も精力的に各種大会等へ出向き、大学チームを含めた新規合宿チームの招致に努めてまいります。

次に、開業医の誘致についてです。

去る9月22日に無償譲渡の議決をいただいた眼科クリニックの開業予定地については、現在、旧てしおがわ土地改良区事務所の取壊しも完了し、来年6月の開業に向け建設工事が進められており、地域医療の一層の充実につながるものと期待をしているところです。

次に、スポーツイベントについてです。

本年度で7回目となる、2021合宿の里土別ジュニアサマージャンプ交流大会が、10月16日に開催され、未来を担う道内の小・中学生30人が参加をしました。

大会当日は、新型コロナウイルス感染防止対策として、大会2週間前からの体調管理チェックシートの提出や選手及び競技役員と一般客のエリア分けを行うなど、感染リスクの低減に努めました。

大会には、本市から3人の小学生が参加し、観客から大きな拍手が送られていました。

次に、チャレンジデー2021についてです。

本年度のチャレンジデーは、本来の実施日である5月の最終水曜日に、おうちチャレンジデーとして実施し、全国統一の取組としては10月27日に実施しました。

本市は、参加率目標を46%に設定し、友好都市みよし市と切磋琢磨することにより、市民皆

スポーツと運動習慣の定着を図る一環としてチャレンジをしました。

今回は、1週間前からフェイスブックや広報車などによる周知を図るなど啓発に取り組みました。

最終結果としては、みよし市との対戦においては勝利を収めたものの、4,389人の参加の下、参加率は24.2%となり、残念ながら目標に達することはできませんでした。今後も、チャレンジデーをはじめ様々な機会を通じ、市民皆スポーツの推進など、健康スポーツ都市宣言の具現化に努めてまいります。

次に、子供たちのスポーツでの活躍についてです。

ウエイトリフティング競技では、11月20日から新潟県で開催された全日本女子選手権大会において、土別翔雲高校3年生の瀬川瑠奈さんが、社会人や大学生を抑え、高校生ながら2位という輝かしい成績を収めました。2024年のパリ五輪に向けても一歩前進する結果となりました。

また、レスリング競技では、11月5日から熊本県で開催された全国少年少女選手権大会において、土別小学校の長尾栞汰さんと小倉緋彩さんがそれぞれ2位の成績を収めました。

このほか、バレーボール少年団の全道優勝など、コロナ禍においてもスポーツでの活躍が見られる一方、南中学校の吹奏楽や各種標語・絵画・俳句・作文などのコンクールにおいても、本市の小学生・中学生・高校生がすばらしい活躍をしています。

次に、文化祭活動についてです。

本年度の市民総合文化祭は、朝日地区では新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催していますが、中央・上土別・多寄・温根別の各地区では、実行委員会としての作品展示・芸能発表を中止いたしました。

その中でも、市のホームページで作品を紹介するオンライン展示や出張所内での独自作品展示を行い、市民の創作活動の成果を広く発表する機会を設けました。

次に、地域イベントについてです。

今年で第8回目となる、復活！朝日町商店街が、10月31日にあさひサンライズホールで行われました。

新規開業者の発掘や次世代の経営者の育成を目的として、地元の小・中学生を対象に就業体験が実施されたほか、カラオケ大会やeスポーツ大会、夜にはサプライズ花火大会などの催しも行われ、約300人の観客が盛り上がりを見せていました。

次に、市立病院の経営状況についてです。

4月から9月までの入院患者数は、前年と比較して、一般病床、療養病床合わせて145人、0.7%増の2万1,636人、1日当たりでは118.2人となりました。また、外来患者数は、昨年は新型コロナ感染拡大による受診控えがあったことから、1,889人、4%増の4万9,551人、1日当たりでは406.2人となり、入院・外来ともに前年同期を上回っています。

この結果、収益が5,000万円増となる中で、費用は3,000万円の増にとどまり、収支差引きでは2,000万円の改善につながっています。

現在は、新型コロナ感染者数は落ち着いていますが、新たな変異株も確認されていることに加えて、インフルエンザの流行期を迎えることから、院内の感染対策はもとより、関係機関との連携により万全を期してまいります。

最後に、公共工事の執行状況についてです。

本年度の工事発注総額、補正予算等による追加工事を含めて128件、約11億2,732万円を予定したところです。

この11月16日までの発注状況は、学田西2号線道路整備工事をはじめ、川西地区、多寄地区、温根別地区及び朝日地区の河川工事、総合体育館、あけぼの子どもセンター、あさひサンライズホールなどの公共施設Wi-Fi整備工事など、予定件数の約97%、125件の発注を終え、その発注総額は、約10億3,495万円、平均落札率は95.32%であり、それぞれ工期内の完成に向けて順調に進捗しています。

以上をもちまして、行政報告といたします。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 以上で、行政報告を終わります。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第3、議案第114号 士別市企業立地促進条例の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。鴻野経済部長。

○経済部長（鴻野弘志君）（登壇） ただいま議題となりました議案第114号 士別市企業立地促進条例の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

本改正は、本年4月に施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、士別市過疎地域持続的発展市町村計画を策定したことに伴い、本市に新たに立地する企業などに対する助成措置を拡充するため、所要の改正を行うものです。

その主な内容は、現在固定資産税の免除の対象としている製造業・農林水産物等販売業・旅館業に情報サービス業等を追加し、投資額の要件については、一律に2,700万円超としていたものを、資本金の規模に応じて500万円以上に引き下げるものです。

また、設備等の新增設に加え改修・改築等に係る税額についても免除の対象とし、令和4年度分の固定資産税から適用するものです。

なお、これにより生じた税収の減少分については、特別措置法の規定により地方交付税において措置されるものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第114号は原案のとおり可決されました。

○議長(遠山昭二君) 次に、日程第4、議案第115号 士別市水道事業給水条例等の一部を改正する条例についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長(渡辺英次君) (登壇) ただいま議題となりました議案第115号 士別市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について、その概要を御説明申し上げます。

本改正は、上下水道事業の経営改善の取組として、令和4年度から水道料金の算定基準となる水道メーターの検針を毎月から2か月ごとの隔月とし、検針日の属する月とその前月分の料金として徴収を行うこととするほか、併せて下水道等の使用料及び徴収方法についても同様の扱いといたし、所要の改正を行うものです。

なお、本改正に伴う所要額については、水道事業をはじめとした補正予算により措置するものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。(降壇)

○議長(遠山昭二君) 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第115号は原案のとおり可決されました。

○議長(遠山昭二君) 次に、日程第5、議案第116号 令和3年度士別市一般会計補正予算(第9号)、議案第117号 令和3年度士別市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)、議案第118号 令和3年度士別市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)、議案第119号 令和3年度士別市水道事業会計補正予算(第2号)及び議案第120号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算(第3号)、以上5案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長(法邑和浩君) (登壇) ただいま議題となりました議案第116号 令和3年度士別市一般会計補正予算(第9号)から議案第120号 令和3年度士別市病院事業会計補正予算(第3号)について、関連がありますので、一括してその概要を御説明申し上げます。

本補正は、新型コロナウイルスワクチンの追加接種に関する事業費や燃料単価の高騰に伴う

各施設の光熱水費の増額のほか、維持管理業務委託などに関する債務負担行為の追加など、当面の予算措置を要するものについて、所要の補正を行うもので、以下、その主な内容について、歳出から順次御説明申し上げます。

まず、一般会計歳入歳出予算のうち歳出に追加するものについてです。

初めに、世界経済の回復に伴う需要増や円安などの影響から、原油価格の高騰などにより、光熱水費等に不足が生じる見込みとなったものとしては、朝日支所管理運営事業費やいきいき健康センター管理運営事業費など、19事業1,657万5,000円、管理委託を行っているサポートセンター管理運営事業費など、2事業19万円、指定管理施設の羊と雲の丘観光施設管理運営事業費など、7事業688万5,000円、合わせて2,365万円を追加計上しました。

続けて、款別に申し上げます。総務費では、地域公共交通総合対策事業費において、土別軌道が運行する市町村生活バス路線の中多寄線ほか3路線、地域内フィーダー系統運行の武徳線並びに予約制乗合バスの川西・南沢線の委託料として2,873万1,000円、準生活路線である川南・大和線ほか1路線及び市内循環バス路線に対する補助金として782万円、合わせて3,655万1,000円を追加計上しました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費では、2回目のワクチン接種から8か月以上経過する方を対象に、令和4年1月以降に実施する3回目の追加接種に向けて、年度内に必要となる経費3,957万6,000円を追加計上しました。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費では、国のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策において、年収960万円以上の世帯を除き、ゼロ歳から高校3年生までの子供1人当たり10万円相当の給付を行うとの方針が示され、このうち、中学生以下に対する現金5万円の給付に関連し、国の予備費活用が11月26日に決定されたことから、臨時特別給付金7,810万円及びこれに要する事務費220万5,000円、合わせて8,030万5,000円を計上しました。

なお、公務員世帯を除く中学生以下の児童手当受給者については、年内の先行給付を実施できるよう速やかに事務手続を開始するほか、高校生の給付分等については、今後開会される臨時国会の動向を注視し、改めて御提案する考えです。

次に、民生費です。

福祉灯油助成事業費では、厳冬期に向けて灯油価格の高値が続いており、低所得者世帯等に対する生活への影響が大きいと判断し、土別市福祉灯油助成事業実施要綱の規定により、高齢者、重度障害者、独り親及び生活保護世帯の約740世帯に対して、1世帯当たり1万円を上限として、福祉灯油助成券を交付するため、725万円を計上しました。

子ども・子育て支援推進事業費では、令和2年度子どものための教育・保育給付交付金と子育てのための施設等利用給付交付金の実績額確定に伴う返還金、合わせて74万7,000円を計上しました。

次に、衛生費です。

健康管理システム整備事業費では、健診結果の利活用に向けた情報標準化及び新型インフル

エンザ予防接種歴情報の利活用に向けたマイナンバー情報連携のための健康管理システム改修費357万7,000円を計上しました。

水道事業会計補助金では、水道事業会計で実施する事業の兼ね合いから補助金6万1,000円を計上しました。

次に、農林水産業費です。

国営造成施設管理体制整備促進事業費では、多寄町の熊の沢放水路の土砂堆積が著しいことから、融雪期における農地への浸水被害等を防止するため、管理者のてしおがわ土地改良区が実施するしゅんせつ工事に対する補助金45万2,000円を計上しました。

次に、商工費です。

住宅改修促進助成事業費では、申請件数が当初の想定を上回る見込みとなったことから、260万円を追加計上、住宅新築促進助成事業費についても同様の理由から100万円を追加計上しました。なお、これらに要する財源については、国・道支出金の特定財源のほか、地方交付税の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

現在、指定管理者制度により管理運営している12施設のうち、士別市立多寄医院については、今年度で指定管理期間が満了することから、新年度に向けて指定管理者の選定手続を行うため、債務負担行為を追加するものです。

また、基本協定による指定管理施設の勤労者センターについては、指定管理料を追加するため、同様の措置を講じるほか、清掃・警備等の施設維持管理業務や市議会会議録原稿作成業務などについては、事前に契約をすることにより円滑に業務を遂行するため、所要の措置を講じるものです。

このほか、当初予算で債務負担行為の設定をしていた、公共施設の照明LED化に伴うリース料について、公募型プロポーザル方式により決定した受託者との10年間のリース契約額による限度額変更の措置を講じたところです。なお、指定管理者の指定については、今後、審査委員会での選定結果を踏まえ、令和4年第1回定例会において提案する予定です。

続いて、公共下水道事業特別会計についてです。

上下水道事業の経営改善に向けた取組として、令和4年度からの隔月検針、隔月請求制の導入に当たり、上下水道の料金システム改修委託料について、管渠排水設備維持管理事業費で60万円、特定環境保全下水道維持管理事業費で4万8,000円、合わせて64万8,000円を計上しました。なお、これに要する財源については、下水道使用料をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

一般会計と同様に、施設の維持管理業務委託などについて、事前に契約することにより、年度当初から円滑に業務を行うため所要の措置を講じるものです。

また、当初予算で債務負担行為の設定をしていた、公共施設の照明LED化に伴うリース料

について、10年間のリース契約額が確定したため、限度額変更の措置を講じたところです。

次に、農業集落排水事業特別会計です。

農業集落排水施設管理運営事業費では、公共下水道事業特別会計と同様に料金システム改修委託料として、9万9,000円を計上しました。なお、これに要する財源については、集落排水施設使用料及び個別排水処理施設使用料をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

施設の維持管理業務などについて、事前に契約をすることにより年度当初から円滑に業務を行うため、所要の措置を講じるものです。

次に、水道事業会計です。

水道事業会計においても同様に、料金システム改修委託料として150万円を計上しました。なお、これに要する財源については、下水道業務受託収益及び一般会計繰入金をもって対応するものです。

次に、債務負担行為の補正についてです。

施設の維持管理業務などについて、事前に契約をすることにより年度当初から円滑に業務を行うため、所要の措置を講じるものです。

次に、病院事業会計です。

重油価格の高騰により、院内の暖房・温水供給用ボイラー用燃料の予算に不足が生じる見込みとなったことから1,890万9,000円を計上しました。

続いて、債務負担行為の補正についてです。

清掃・警備等の施設の維持管理業務及び医事業務について、事前に契約をすることにより、年度当初から円滑に業務を行うため、所要の措置を講ずるものです。

また、当初予算で債務負担行為の設定をしていたLED照明器具導入業務について、10年間のリース契約額が確定したため、限度額変更の措置を講じるものです。

以上、今回の補正の概要について御説明申し上げます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第116号から議案第120号までの5案件は原案のとおり可決されました。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第6、諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦についてを議題

に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について御説明申し上げます。

令和4年3月31日をもって任期満了となる田代圭子委員の後任として、柏倉真紀子氏を新任の候補者として推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） お諮りいたします。

本案については、推薦に同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（遠山昭二君） 御異議なしと認めます。

よって、諮問第3号は推薦同意と決定いたしました。

○議長（遠山昭二君） 次に、日程第7、認定第1号 令和2年度士別市一般会計歳入歳出決算認定についてから認定第8号 令和2年度士別市病院事業会計決算認定についてまで、以上8案件を一括議題に供します。

予算決算常任委員長の報告を求めます。山居忠彰委員長。

○予算決算常任委員長（山居忠彰君）（登壇） ただいま議題となりました認定第1号 令和2年度士別市一般会計歳入歳出決算認定についてから認定第8号 令和2年度士別市病院事業会計決算認定についてまでの8案件に対する予算決算常任委員会の審査経過並びに結果を御報告申し上げます。

本委員会は、付託された決算認定議案に対し、11月11日から12日までの2日間、一般会計、各特別会計、各企業会計の決算内容について質疑を行いました。

審査に当たっては、財政健全化実行計画が策定された厳しい財政状況の中で事務事業が適正かつ効率的に執行されているか、どのような効果が得られたのか、市民サービスの充実や福祉の向上が図られているかなど、決算書及び関係書類、監査委員の決算審査意見書なども参考にしながら、渡辺市長をはじめ説明員の出席を求め慎重に審査を行いました。

審査結果については、認定第1号から認定第8号までの8案件は、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。（降壇）

○議長（遠山昭二君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、委員長の報告のとおり認定することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) 御異議なしと認めます。

よって、認定第1号から認定第8号までの8案件は原案のとおり認定と決定いたしました。

○議長(遠山昭二君) 次に、日程第8、意見書案第12号 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書についてを議題に供します。

本案については、提案者の説明を省略いたします。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) 御異議なしと認めます。

よって、意見書案第12号は原案のとおり可決されました。

○議長(遠山昭二君) 以上で、本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。議事の都合により明12月1日から13日までの13日間は休会といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(遠山昭二君) 御異議なしと認めます。

よって、明12月1日から13日までの13日間は休会と決定いたしました。

なお、12月14日は午前10時から会議を開きますので、御参集願います。

本日は、これをもって散会いたします。

御苦労さまでした。

(午前10時45分散会)